

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2022年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年4月28日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年4月28日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【雑固体廃棄物焼却設備の空気圧縮機(B)放風サイレンサ取付ボルトの緩みについて】 当社委託員が現場パトロール時に、待機停止中の雑固体廃棄物焼却設備の空気圧縮機(B)放風サイレンサ取付ボルトの全てに緩みがあることを確認。 原因は、機器振動によるものと推定。 なお、他号機と同設備については、ボルトの緩みなしを確認。 現在、同設備の空気圧縮機については、(A)(C)を運転しているため影響なし。 今後は、ボルトの再取り付けを実施予定。</p>	GⅢ	4月22日
2	<p>【2号機タービン建屋ポンプ出口弁スキッド(A)テスト弁より滴下発生について】 協力企業作業員が、2号タービン建屋ポンプ出口スキッド(A)テスト弁の付け根付近から、水の滴下を確認。 袋養生を実施するとともに、ポンプ(B)へ切り替えを実施。 当直員にて、滴下の継続がないこと、滴下した水は堰内に溜まっていることを確認。 なお、その後当該ラインの運転を実施し、にじみ箇所が特定できたため、増し締めを実施し滴下停止を確認。</p>	GⅢ	4月23日
3	<p>【既設多核種除去設備(C)系循環ポンプ入口配管からのにじみについて】 協力企業作業員が、既設多核種除去設備(C)系点検後の水張り実施中、循環ポンプ1C入口の枝管からのにじみを確認。 原因は、配管母材のピンホール(極小径な穴)と推定。 直ちに補修を行い、今後、水張り時に漏えいの無いことを確認する。</p>	GⅢ	4月25日
4	<p>【既設多核種除去設備(B)系循環ポンプ入口配管からのにじみについて】 協力企業作業員が、既設多核種除去設備(B)系点検後の水張り実施中、循環ポンプ1B入口の枝管からのにじみを確認。 原因は、配管溶接部のピンホール(極小径な穴)と推定。 直ちに補修を行い、今後、水張り時に漏えいの無いことを確認する。</p>	GⅢ	4月26日